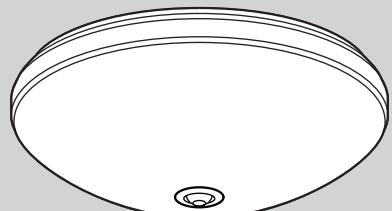


保管用

施工説明付き

保証書別添付

取扱説明書



住宅用照明器具 (FreePa(ひとセンサ) LEDシーリングライト)

品番 HH-SC0090N

お客様へ

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

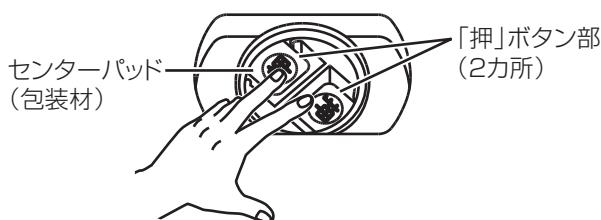
■取扱説明書をよくお読みのうえ、
正しく安全にお使いください。
特に、ご使用前に「安全上のご注意」(2~3ページ)を
必ずお読みください。
保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず
確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

工事店様へ

■この説明書は必ずお客様にお渡しください。

器具を底板から取り外す方法

- ①器具のカバーを外す
☞ 6ページ「カバーの外しかた」参照
- ②器具中心部のセンター・パッド(包装材)の「押」ボタン部
(2カ所)を押しながら本体を持ち上げる



もくじ

安全上のご注意	2
ご使用上に関するお知らせ	3
配線について	4
この器具の使いかた	4
各部のなまえと付属部品	4
照明器具を取り付ける	5
照明器具を取り外す	6
検知範囲とエリアカット	7
センサの設定	8
連続点灯への切り替えかた	9
故障かな?と思ったら	9
お手入れについて	裏表紙
仕様	裏表紙
保証とアフターサービス	裏表紙

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。(下記は図記号の一例です。)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

⚠ 警告

■取付面

●次のような場所には取り付けない

火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

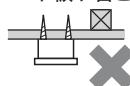
- 平面部が直径500mm未満の場所(例:下図)



- 凹凸のある場所(例:下図)



- 補強のない場所
(ベニヤ板や石こうボードなど)



- 傾斜した場所



◎この器具は水平天井面取り付け専用です。



禁止

■配線器具

●がたついたり、破損している配線器具(ローゼット・引掛シーリング)には取り付けない

火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。がたつき・破損



●適正な状態にない配線器具には無理に取り付けない

落下によるけがのおそれがあります。

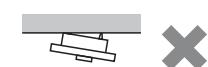
内装材の重ね貼りなどにより出しきが小さくなつたもの



禁止

ローゼット10mm未満

斜めに取り付けられたもの



引掛シーリング19mm未満



シーリングハンガーが取り付けられたもの



ケースウェイに取り付けられたもの



電源端子露出タイプ



■壁スイッチ

●調光機能が付いた壁スイッチの場合は、一般の入切用スイッチに交換する

火災のおそれがあります。



必ず守る

◎販売店、工事店に交換を依頼してください。
(取り外しには資格が必要です。)

■その他

●器具を改造したり、部品交換をしない

火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。



分解禁止

●異常を感じた場合、速やかに電源を切る

異常状態が収まったことを確認し、販売店またはお客様ご相談窓口(保証書内在中)にご相談ください。



必ず守る

●交流100ボルトで使用する

過電圧を加えると過熱し、火災、感電のおそれがあります。

●アダプタは確実に取り付ける

落下してけがのおそれがあります。



必ず守る

●本体は確実に取り付ける

破損して感電のおそれがあります。

●本体が簡単に回転しないことを確認してからカバーを取り付ける

破損して感電のおそれがあります。

⚠ 注意



必ず守る

- 照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。

点検・交換してください

点検せずに長期間使い続けるとまれに火災、感電、落下などに至る場合があります。

- ◎ 1年に1回は「安全チェックシート」(保証書内に中)に基づき、自主点検してください。

● カバーは確実に取り付ける

落下してけがのおそれがあります。



水ぬれ禁止

- 浴室など湿気の多い場所や屋外で使用しない

火災、感電の原因となることがあります。

- ◎ この器具は防湿、防雨型ではありません。



禁止

- 温度の高くなるものを器具の真下に置かない

火災の原因となることがあります。

- ◎ 器具の真下にストーブなどを置かないでください。

● カバーを外した状態で点灯したLEDを長時間直視しない

目の痛みの原因となることがあります。

● アンダーグリップを持って器具を持ち上げない

器具破損の原因となることがあります。



接触禁止

- 点灯中や消灯直後はLEDやその周辺にさわらない

やけどの原因となることがあります。

- ◎ お手入れは電源を切り、LEDやその周辺が冷めてから行ってください。

ご使用上に関するお知らせ

故障や異常ではありません

【器具自体の留意点】

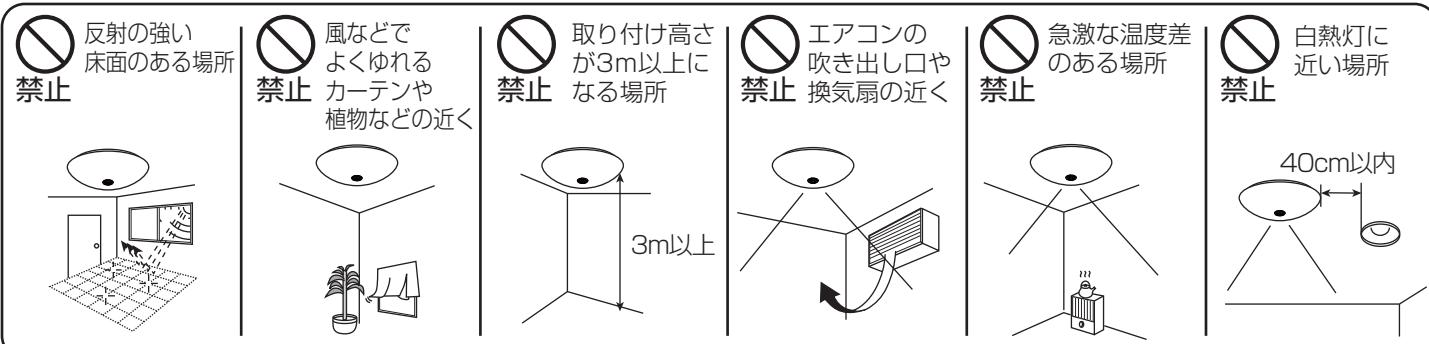
- 点灯中や消灯直後、プラスチックの伸縮によるきしみ音が照明器具から発生することがあります。
- 天井の材質や構造によっては、天井面が変色することがあります。
- 停電時、停電復帰時などで予期せぬ非常に短時間の停電が発生した場合、点灯状態が変わる場合があります。
長時間使わないときは、壁スイッチをOFFしてください。
- 壁スイッチがONの場合、消灯時も待機時消費電力を消費しています。
- LEDにはバラツキがあるため、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
- LED光源は、通常のランプのようにお客様自身でのお取り替えはできません。

【周囲の影響】

- 器具の近くでは、ラジオやテレビなどの音響、映像機器に雑音が入ることがあります。
- 3Dテレビ用などの特殊なメガネをかけて点灯している照明器具を見た場合、縞模様やちらつきが見える場合があります。
- 点灯中にビデオカメラを使用すると、ビデオカメラのモニターや録画画像に縞模様が入る場合があります。

センサ状態について

- 強い風などの影響による周囲の温度変化を検知し、点灯する場合があります。
- 夏場など気温が体温に近づいたときは、検知しにくくなります。
- 人が静止している場合は、検知範囲内でも消灯します。
- 次のような場所には取り付けないでください。
・ このセンサは周囲の明るさと温度変化を検知しますので、誤動作の原因となります。



配線について

配線工事は、販売店、工事店にご依頼ください

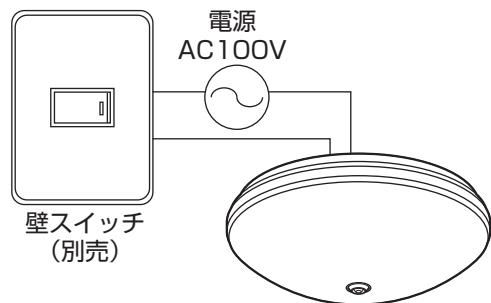
■必ず壁スイッチを設けてください。(通常は壁スイッチをONの状態でご使用ください。)

- ・センサによる動作に異常が発生したとき、リセット操作に壁スイッチが必要です。
- ・連続点灯へ切り替えることができます。
- ・長期使用しないときや、お手入れの際に電源を切ることができます。

●壁スイッチにパイロットスイッチを使用すると、壁スイッチがON状態でも照明器具が消灯状態(センサ待機状態)のときは、パイロットスイッチ表示が点灯しない場合があります。
(故障ではありません)

●壁スイッチは器具1台につき1個でご使用ください。

2台以上の器具と接続すると連続点灯に切り替えるときに不具合が生じます。



この器具の使いかた

お買い求めの器具は以下の2種類の使いかたができます

センサによるON/OFF でご使用の場合は、使用環境に合わせて検知範囲、点灯保持時間などを調整する必要があります。
ご使用の前に説明書をよくお読みのうえ調整してください。

センサによるON/OFF

周囲が暗くなり、人が近づくとセンサの働きにより100%点灯 → 人がいなくなっただけで消灯
 7ページ「検知範囲とエリアカット」、8ページ「センサの設定」参照

連続点灯

人の検知に関係なく100%連続点灯。
 9ページ「連続点灯への切り替えかた」参照

各部のなまえと付属部品

施工する前にまず付属品をご確認ください

照明器具

本体取り付け用付属品

エリアカット
フード(1個)



アダプタ(1個)

補修品番NZ2717M

配線器具

(付属していません。)

本体

※器具本体裏面に3カ所
ついている黒スポンジ
は取らないでください。
(本体回転防止のため必要です)



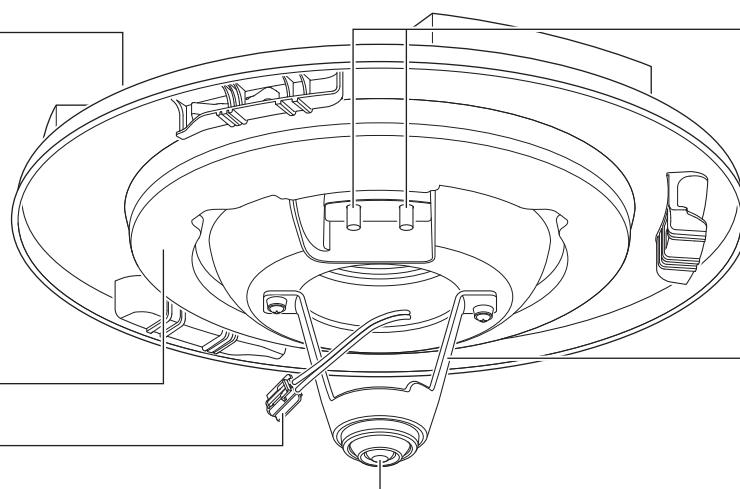
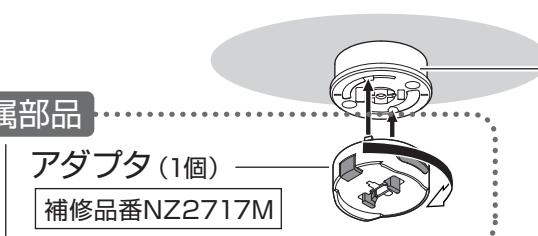
LED

コネクタ

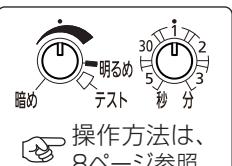
検知部(センサ)

周囲の明るさ、人の動きによる温度変化を検知します。
傷つけたり、汚したりしないでください。

詳細は、7ページ参照



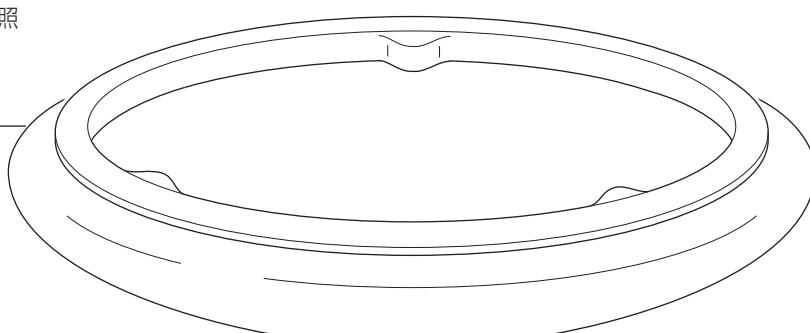
調整ツマミ



アングル

アングルは、本体との間にすき間を設けて
取り付いているため、ぐらつきます。
(異常ではありません。)

カバー



照明器具を取り付ける

安全のため、電源を切ってから行ってください

※必ず壁スイッチと併用してください。 3ページ「ご使用上に関するお知らせ」参照

1 天井についている配線器具を確認する

天井に右記のような配線器具が付いている場合、取り付けできます。

→ 2の作業へ進んでください。

右記以外の配線器具の場合、または、配線器具が設置されていない場合は取り付けできません。

◎販売店、工事店に配線器具の取り替え、取り付けをご依頼ください。

※工事には資格が必要です。

天井からの出しろが 22 mm の配線器具



天井からの出しろが 11 mm の配線器具



2 天井の配線器具にアダプタを取り付ける

①位置を合わせる

引掛刃（2カ所）を配線器具のスライド穴に入れる

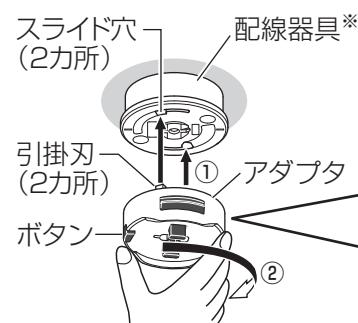
②カチッと音がするまで

アダプタを右に回して取り付ける

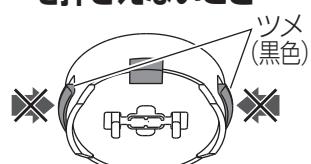
確認 ボタンを押さずに左に回して外れないことを確認する



アダプタは確実に取り付ける
落としてけがのおそれがあります。



**アダプタのツメ(黒色)
を押さないこと**



押さえるとロックがかかり
取り付けできません

※: 代表例を表示しています

3 アダプタに本体を押し上げて取り付ける

アダプタに本体の穴を合わせて押し上げる

※配線器具により本体の取付位置が異なります。
右記を参考に押し上げてください。

※器具裏面の黒スポンジは取り外さないでください。
本体の固定ができなくなり簡単に回転します。

確認

本体を押し上げてもアダプタに取り付かない場合は、アダプタが正しく取り付けられていません。

→取り付けできない場合は、

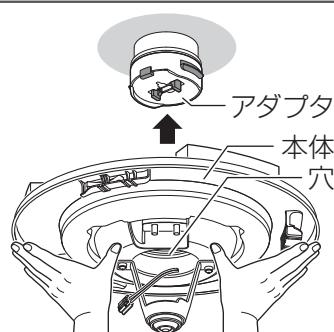
(1) アダプタを外す

次ページ「照明器具を取り外す」手順③ 参照

(2) 再度、手順②を行う



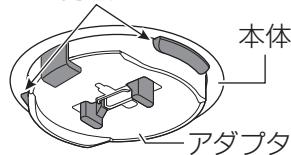
本体は確実に取り付ける
破損して感電のおそれがあります。



**カチッ、カチッと
2度、音がするまで
押し上げる**

アダプタの本体取り付け位置

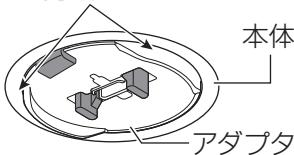
アダプタのツメ(黒色)が
両方見える



**カチッと1度、音が
するまで押し上げる**

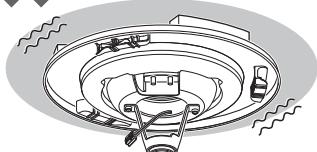
アダプタの本体取り付け位置

アダプタのツメ(黒色)が
両方見えない

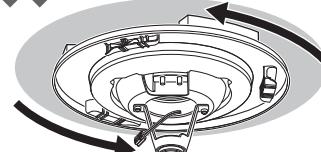


4 本体が正しく取り付けられているか確認する

× 本体がグラグラする



× 本体が簡単に回転する



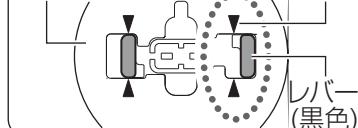
上図の場合、正しく取り付けられていないので再度、手順③を行ってください。

**× アダプタの▼印とレバー
の位置がずれている**

アダプタ

▼印

レバー(黒色)

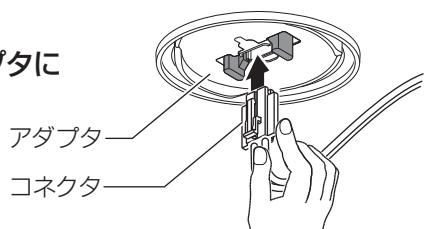


(次ページにつづく)

5 コネクタをアダプタに差し込む

- ① 本体がグラグラしていないか、簡単に回転しないか確認する

- ② コネクタをアダプタに確実に差し込む



確認

- コネクタが差し込めない場合は、本体が正しく取り付けられていません。

→差し込めない場合は、前ページ手順③に戻る。

- 引っ張って、コネクタが外れないことを確認する。

- 本体がグラグラしている状態や簡単に回転する状態でコネクタを差し込んだ場合は、コネクタを外して(☞下記「照明器具を取り外す」手順①参照)本体を押し上げる(☞前ページ手順③参照)

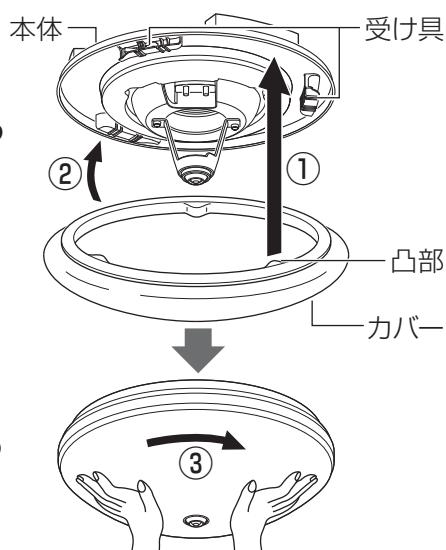
6 カバーを取り付ける

- ① カバーの凸部を本体の受け具と受け具の間に合わせる

- ② カバーを持ち上げる

- ③ カバーを回転が止まるまで右に回す
(回転角度は、最大で約100度)

- ④ カバーが右に回転しないことを確認する



確認

- カバーが1回転しても取り付けできない場合は、本体が正しく取り付けられていません。

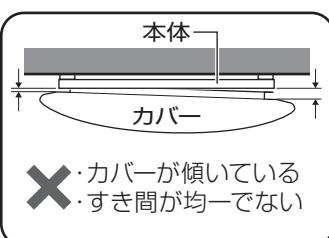
→取り付けできない場合は、

- (1) コネクタを外す (☞下記「照明器具を取り外す」手順①参照)
- (2) 本体を押し上げる (☞前ページ手順③参照)
- (3) コネクタを差し込む (☞上記手順⑤参照)
- (4) 再度、手順⑥を行う

- カバーが傾いていないか、すき間が均一になっているか確認する。

→カバーが傾いたり、すき間が均一でない場合は、カバーの凸部が受け具にはまっていない可能性があります。

カバーを左に回して外し、再度、手順⑥を行う



警告

- 本体が簡単に回転しないことを確認してからカバーを取り付ける
破損して感電のおそれがあります。

注意

- カバーは確実に取り付ける
落下してけがのおそれがあります。

カバーの外しかた

- ①カバーを左に約40度回す
- ②カバーを外す



確認

- カバーが1回転しても取り外せない場合は、本体が正しく取り付けられていません。

→取り外せない場合は、本体を押さえながらカバーのみを左に回して外し本体を正しく取り付ける

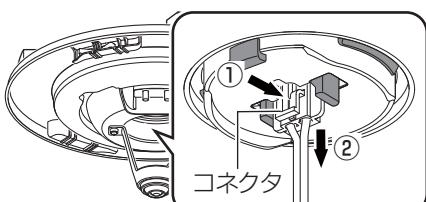
(☞左記 確認 手順①～③参照)

照明器具を取り外す

1

コネクタを外す

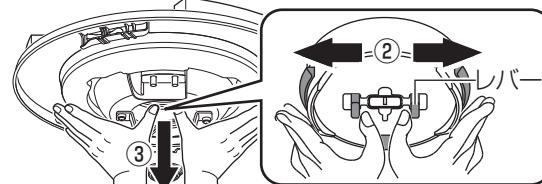
- ①つまみながら
- ②引いて、外す



2

本体を外す

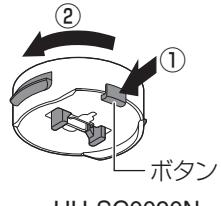
- ①本体が落ちないようにしっかりと支え
- ②レバーを矢印の方向(左右)に広げたまま
- ③本体をゆっくりと下げて、外す



3

アダプタを外す

- ①ボタンを押しながら
- ②左に回す



検知範囲とエリアカット

●検知部は真下にした状態から全方向に約20°可動します。

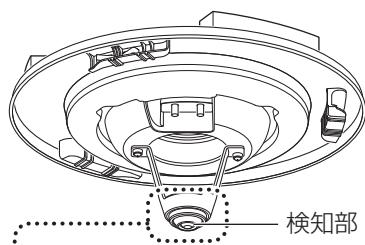
●センサはおよそ下図の「検知範囲」で検知します。

下図の「検知範囲」を参考にして検知部の角度を調整してください。

(記載の検知範囲はあくまで目安としてお考えください。)

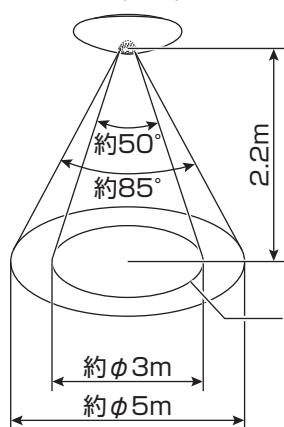
●検知範囲は、付属のエリアカットフードを取り付けることで狭くできます。

取り付け方法は、下図の「エリアカットフードの取り付けかた」を参照ください。

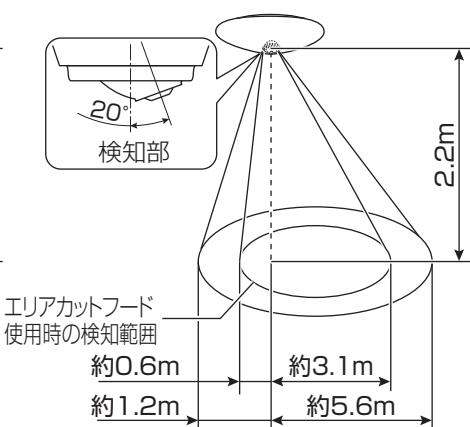


検知範囲

検知部0°(真下)の場合

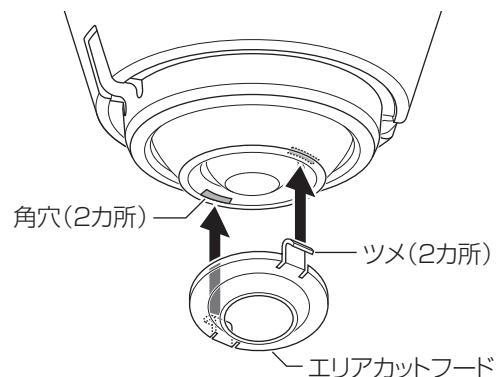


検知部を20°傾けた場合



エリアカットフードの取り付けかた

エリアカットフードのツメ(2カ所)を
検知部の角穴(2カ所)に入れて取り付ける

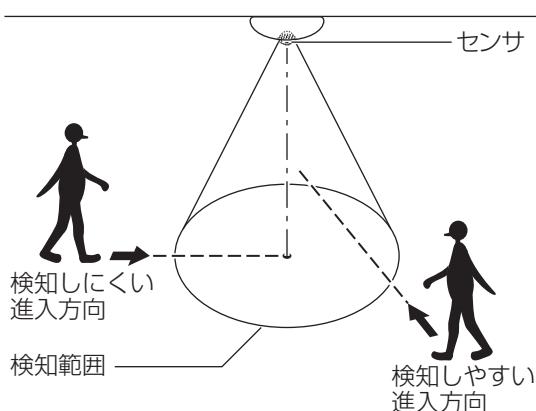


●センサは、人の動きなど温度変化を検知しています。

■センサ動作について

検知しにくくなる場合

- ・肌の露出部分が少ない場合(着衣の表面温度は一般的に体温よりも周囲温度に近いため)
- ・夏場など周囲温度が体温に近い場合
- ・検知部を可動させ拡がった側の検知範囲
- ・検知範囲に入る速度が速い場合
- ・センサの向いている方向に向かって近づいた場合



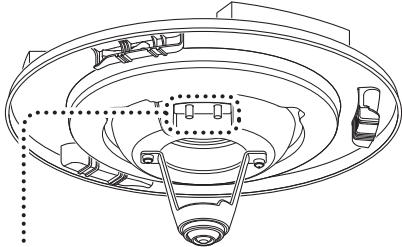
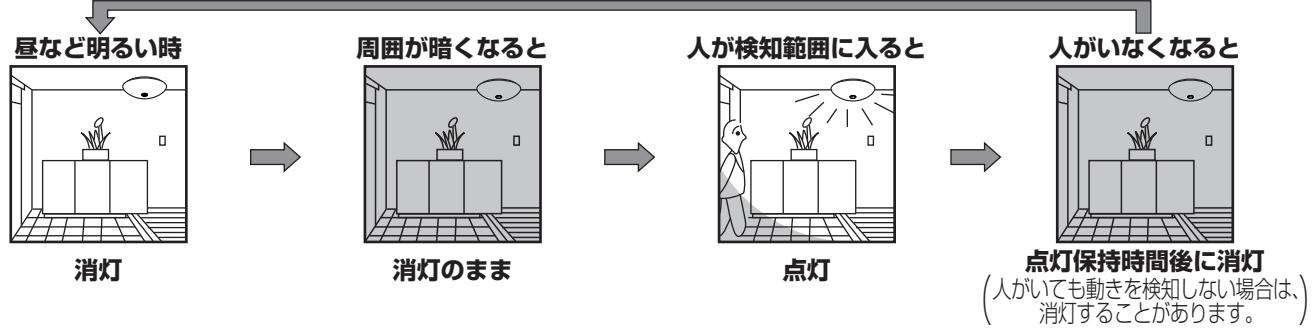
誤動作について

検知周囲内に熱源^{※1}があると人がいなくても点灯する場合があります。

※1) 照明器具、エアコン、犬や猫などの動物など

センサの設定

■センサによるON/OFFの動作イメージ



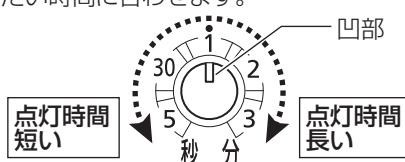
調整ツマミのなまえ



調整ツマミのはたらき

●点灯保持時間

人が検知範囲からいなくなるまたは、静止してからの点灯時間を設定できます。(設定可能時間:5秒~3分)
ツマミの凹部を設定したい時間に合わせます。



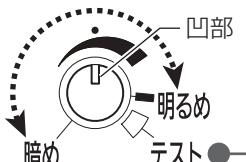
注意

下記の点灯する周囲の明るさツマミを「テスト」にすると、点灯保持時間のツマミの位置に関係なく約5秒に固定されます。

●点灯する周囲の明るさ

センサがはたらき始める周囲の明るさを設定できます。
ツマミの凹部を設定したい明るさに合わせます。
「テスト」は右いっぱいに回すことで周囲の明るさに関係なく動作することができます。

*ツマミを調整する場合は、いったん左いっぱいに回して右回して合わせてください。



1 壁スイッチをOFFにする

2 カバーを外す

6ページ「照明器具を取り付ける」手順⑥参照

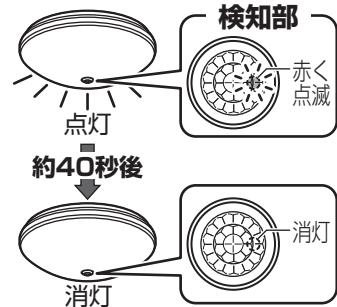
3 調整ツマミの設定を変更する

動作確認のため、点灯する周囲の明るさツマミのみを下記のように合わせる



4 壁スイッチをONにし、検知範囲から離れる

- ①壁スイッチをONにして点灯させる
(ONした直後は必ず点灯し検知部が赤く点滅します)
- ②検知範囲から離れる
- ③約40秒後に消灯することを確認する



5 検知範囲を確認する

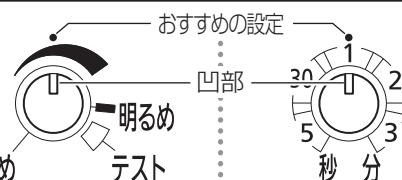
検知範囲に入ると点灯し、離れると約5秒で消灯します。
6ページ「検知範囲とエリアカット」を参照して検知範囲の確認または再設定を行う。

6 壁スイッチをOFFにする

7 点灯する周囲の明るさ、点灯保持時間を設定する

調整ツマミを回し、センサのはたらき始める周囲の明るさ、点灯時間を設定する

おすすめの設定	点灯する周囲の明るさ → 「●印」 点灯保持時間 → 「●印」(1分)
---------	----------------------------------------



ツマミの凹部はお好みの位置に合わせてください。
※ツマミを調整する場合は、いったん左いっぱいに回して右回して合わせてください。

点灯する周囲の明るさツマミを「テスト」で使用すると、点灯保持時間が約5秒に固定されます。

詳しくは、6ページ「調整ツマミのはたらき」参照

8 カバーを取り付ける

6ページ「照明器具を取り付ける」手順⑥参照

9 壁スイッチをONにする

連続点灯への切り替えかた

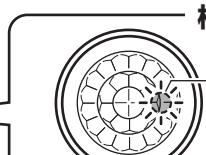
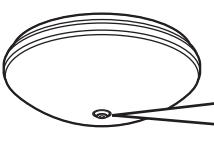
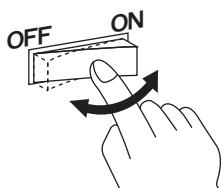
壁スイッチで切り替えられます

壁スイッチで切り替えられます

1 ONの状態から



2 素早く(約2秒以内)OFF→ONにすると連続点灯になります



検知部

連続点灯になると
赤く点灯します

メモ

連続点灯をやめたいときは、もう一度壁スイッチを素早く(約2秒以内)OFF→ONしてください。

●点灯する周囲の明るさツマミで設定した明るさより、周囲が暗いときに連続点灯への切り替えができます。

(壁スイッチをONした直後から約40秒後より連続点灯への切替ができます。)

周囲が明るいときに連続点灯させたい場合は、点灯する周囲の明るさツマミを「明るめ」側に調整します。

ツマミを右いっぱい(「テスト」まで)に調整すると、周囲の明るさに関係なく切り替えできますが、センサによる動作に戻った際は、点灯保持時間は約5秒になります。 詳しくは、[8ページ「調整ツマミのはたらき」](#)を参照してください。

●連続点灯していても、下記のいずれかの状態になると自動的に消灯し、センサによる動作に切り替わります。

・約2時間連続点灯した後に点灯する周囲の明るさツマミで設定した明るさより、周囲が明るくなつた場合

・約15時間連続点灯した場合

故障かな?と思ったら

下表に従って点検してください

現象	考えられる原因	処置	参照ページ
本体が取り付かない	アダプタが正しく取り付いていない	①アダプタを外し ②再度、アダプタを取り付ける	6ページ ③ 5ページ ②
検知範囲に入っているが点灯しない	壁スイッチ(電源)がOFFになっている	壁スイッチをONにする	—
検知範囲に入っているが点灯しない	点灯する周囲の明るさ調整ツマミが「暗め」になっているなど、設定した明るさより周囲が明るい	点灯する周囲の明るさ調整ツマミを「明るめ」(右方向)に回す	8ページ 「センサの設定」
検知範囲が小さい	検知部の向きが傾いている	検知範囲を調整する (検知部の角度を変える)	7ページ 「検知範囲とエリアカット」
検知範囲が小さい	エリアカットフードが取り付いている	エリアカットフードを取り外す	7ページ 「検知範囲とエリアカット」
検知範囲が小さい	検知部が汚れていたり蒸気などの水滴がついている	検知部を柔らかい布で傷がつかないようふきとる	—
検知範囲に人がいるのに点灯する	暑い日などに周囲温度と人体の温度差が少ない	本センサは人の動きによる温度変化を検知するため左記の場合検知しにくことがあります	7ページ 「検知範囲とエリアカット」
検知範囲に人がいるのに点灯する	検知範囲に人以外の熱源がある 風などでよくゆれる物(カーテン、植物) ストーブなどの暖房器具	エリアカットフードを取り付けて検知範囲を狭くする	7ページ 「検知範囲とエリアカット」
検知範囲に人がいるのに点灯する	壁スイッチをONした直後 (検知部が赤く点滅している)	熱源を検知範囲より動かす 壁スイッチON後、約40秒は周囲の明るさに関係なく必ず点灯します(故障ではありません)	— 8ページ 「センサの設定」
人がいなくなつてもなかなか消灯しない	点灯保持時間が長く設定されている	点灯保持時間を短く設定する	8ページ 「センサの設定」
人がいなくなつてもなかなか消灯しない	壁スイッチの切り替えにより連続点灯になっている(検知部が赤く点灯している)	壁スイッチを素早く(2秒以内)OFF→ONしてセンサ動作に切り替える	9ページ 「連続点灯への切り替えかた」
周囲が明るいのに検知範囲に入ると点灯する	点灯する周囲の明るさ調整ツマミが「明るめ」になっている	点灯する周囲の明るさ調整ツマミを「暗め」(左方向)に回す	8ページ 「センサの設定」
検知範囲に人がいるのに消灯する	人が静止している(動きが小さい)	少し動けば点灯します (故障ではありません)	7ページ 「検知範囲とエリアカット」
検知範囲に人がいるのに消灯する	点灯保持時間設定が短い	点灯保持時間を長く設定する	8ページ 「センサの設定」
検知範囲に人がいるのに消灯する	壁スイッチをONした直後から約40秒後である	壁スイッチをONにして約40秒後は検知の有無に関係なく必ず消灯します(故障ではありません)	8ページ 「センサの設定」
点灯保持時間が設定した時間よりも短い	点灯する周囲の明るさ調整ツマミが「明るめ」のラインを超えて「テスト」になっている	ツマミをいったん左いっぱいに回して「テスト」以外で再度調整する	8ページ 「調整ツマミのはたらき」
検知しにくいときがある	室温が高くなり、人と床面の温度差が小さい	温度変化量を検知しますので、温度変化が小さい場合、検知しにくくなります(故障ではありません)	7ページ 「検知範囲とエリアカット」
ずっと点灯している	壁スイッチの切り替えにより連続点灯になっている(検知部が赤く点灯している)	壁スイッチを素早く(2秒以内)OFF→ONしてセンサ動作に切り替える	9ページ 「連続点灯への切り替えかた」

上記の処置を行っても現象が続く場合

①電源をいったん切る

②約5秒以上経ってから再び電源を入れる

●上記の点検でなお異常のある場合には、ただちに電源を切り、ご購入の販売店、工事店、お客様ご相談窓口(保証書内在中)にご相談ください。

お手入れについて

安全のため、電源を切ってから行ってください

- 明るく安全に使用していただくため、定期的(6ヶ月に1回程度)に清掃してください。
- 汚れがひどい場合は、石けん水に浸した布をよく絞ってふき取り、乾いたやわらかい布で仕上げてください。

確認

シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色、破損の原因となります。

仕様

使用電圧	周波数	消費電力	入力電流	光色
AC100V	50/60Hz共用	17W(センサ待機時 約1W)	0.28A	昼白色

- LED照明器具の光源寿命は、40,000時間です。（照明器具の寿命とは異なります。）光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。

保証とアフターサービス

よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などは…

■まず、お買い上げの販売店へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電 話 () -

お買い上げ日 年 月 日

修理を依頼されるときは…

まず電源を切って、お買い上げ日と以下の内容をご連絡ください。

●製品名 住宅用照明器具

●品番 上記「仕様」をご参照ください。

●故障の状況 できるだけ具体的に

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

ただし、LED電源については3年間です。

※保証の例外 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間の使用の場合、保証期間は半分となります。

補修用性能部品の保有期間 6年

*当社はこの照明器具の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。

●保証期間中は、保証の規定に従って出張修理いたします。

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。

*修理料金は次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用

部品代 部品および補助材料代

出張料 技術者を派遣する費用

●アフターサービスについてのご不明な点や修理に関するご相談は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口（保証書内在中）にお問い合わせください。

パナソニック株式会社

ライティング機器ビジネスユニット

〒571-8686 大阪府門真市門真1048

© Panasonic Corporation 2018

HH-SC0090N - T3A

N0218 - 00